

**G8 北海道洞爺湖サミットへの議長報告書：  
気候変動、クリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する  
グレンイーグルズ対話**

**Chair's Report to the G8 Hokkaido Toyako Summit:  
Gleneagles-Dialogue  
on Climate Change, Clean Energy and Sustainable Development**

**1. 背景**

- 気候変動、クリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する閣僚級対話は2005年のグレンイーグルズ・サミット時に立ち上げられた。第1回会合はロンドンにて2005年10・11月に、第2回会合はメキシコ・モンテレーにて2006年10月に、第3回会合はドイツ・ベルリンにて2007年9月に、第4回会合（最終）は千葉にて2008年3月に行われた。
- グレンイーグルズ・サミットにおいて、2008年のG8首脳会議において報告を受けることとなっており、本報告書はこれに応える形で提出されるもの。

**2. 報告書のポイント**

- 本報告書は対話各回において発出された議長総括をまとめたもの（各会合の議長総括は別添）。
- 各対話では、エネルギー政策との一体的観点から、気候変動対策における技術、資金及び投資、2013年以降の枠組み（将来枠組み）のあり方等に焦点を当てて議論が行われ、率直かつ示唆に富んだ意見交換が行われた。各議長総括においてこれらの議論を議長の責任において取りまとめている。

（了）